

空の移動革命に向けた官民協議会

空飛ぶクルマの商業運航実現に向けた取組み

～より身近な新しい空の移動価値の創造を目指して～

2025年8月28日

株式会社Soracle

(Xはじめました : @SCL_official_JP)



Soracle

1. 株式会社Soracleについて

- ✓ eVTOL特性を活かした新しい空のインフラを構築し、既存の輸送方法では対応できない社会課題解決を図り、経済的価値創造を行います。
- ✓ 新しい空の移動価値の創造を実現したいJALと住友商事の想いが一致。2024年6月折半出資、CEO(住商)・COO(JAL)出向で設立。

実現したい価値の一致



社会的価値創造

eVTOL 特性

電動

自動

垂直離着陸

期待

低環境負荷

低コスト

未利用
空域活用
(街なか・離島・遠隔地)

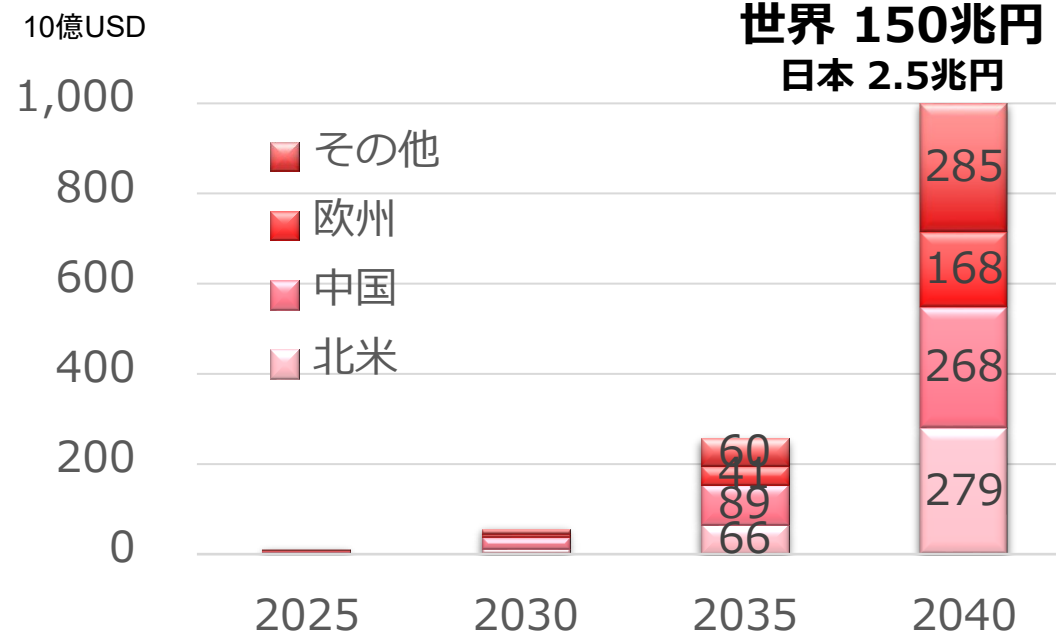
社会的 価値

身近で新しい空の移動価値の創造

脱炭素貢献・労働力不足対応・多様なアクセス構築
地域経済発展・緊急医療迅速化・災害対応強化

経済的価値創造

エアモビリティ市場規模 見込み



1. 株式会社Soracleについて <https://www.soraclecorp.com/>



ミッション・ビジョン

地球に優しく、より身近な新しい空の移動価値を創造し、
社会と人々の暮らしを豊かにします。

社名に込めた想い

- ✓ お客様が空港に行くのではなく、**空**の方からお客様の身近な場所にやってくるイメージ。
- ✓ 新たな技術(eVTOL/**空**飛ぶクルマ)により、**空**の移動に奇跡(ミラクル)を起こす。
→ 場所の制限を減らし、**空の移動を身近なものに変える**。

大切にする価値観（行動指針）



Safety

安全

安全は経営の基盤であり、社会への責務です。
常に安全を優先して行動します。



Harmony

調和

地球・社会・仲間との調和を図り、
徹底的に議論して一致して行動します。



Frontier Spirit

挑戦

新しい市場を切り拓き、
変わりゆく世界へ挑戦し続けます。

2. 当社が目指す展開ステップ（足元の取組と今後の計画）



Phase 1
2025-27

● 準備・市場参入期

25年万博デモンストレーション・26年大阪試験飛行を実施し、eVTOLへの社会受容性向上を図る
機体TC/**AOC取得**後、eVTOL運航先駆者となって社会的価値創造とアーリーアダプター取込みを図る

Phase 2
2027-29

● 市場形成期

Phase 1路線を機軸に**地域ネットワークモデルを形成**する
デベロッパー・自治体等と連携し、需要の高い地点で**既存ヘリポートに加えVertiport路線開発**を図る

Phase 3
2029-30

● 市場成長期

地域特性に応じた機体を活用し、**地域ネットワークモデルの拡充**
機体の量産に伴う価格低下による、収益力強化

Phase 4
2031-

● 更なる拡大

地域ネットワークモデルの更なる拡充、オンデマンド運航による**都市内エアタクシーの実現**
住友商事・JALの強みを生かした**海外展開**

Soracle、米Archer社と戦略的関係構築に向けた基本合意書を締結

Soracleは、米Archer社と戦略的関係構築に向けた基本合意書を締結しました。

両社は、大阪・関西万博でのデモンストレーション運航プログラムの実施に加え、**eVTOLの商用運航実現に向けた協業**の検討を開始することに合意しました。

今般Archer社との基本合意書には同社が開発・製造するeVTOL “Midnight”の最大100機の**購入権取得**を含んでおり、eVTOL社会実装の早期実現に向けた準備を加速して参ります。



<Archer社 Midnight 機体概要>

- ・ 定員 : 4名 (+ パイロット1名)
- ・ 最大積載量 : 454Kg
- ・ 寸法 : 10m×15m×4m程度
- ・ 航続距離 : 160km
- ・ 最大速度 : 240km/h
- ・ 充電方式 : Plug-in式

3. 商業運航に向けた取り組み | 万博 実機体験イベント

大阪・関西万博および その後の社会実装に向けた取り組みについて

大阪・関西万博でArcher社Midnightをアジア・日本で初めて
実寸大モデル機体・試験飛行映像・将来運航イメージを展示。

【イベント名】 Future Sky Experience
【期間】 2025年7月8日～15日
【期間】 万博会場内 Vertiport / 格納庫



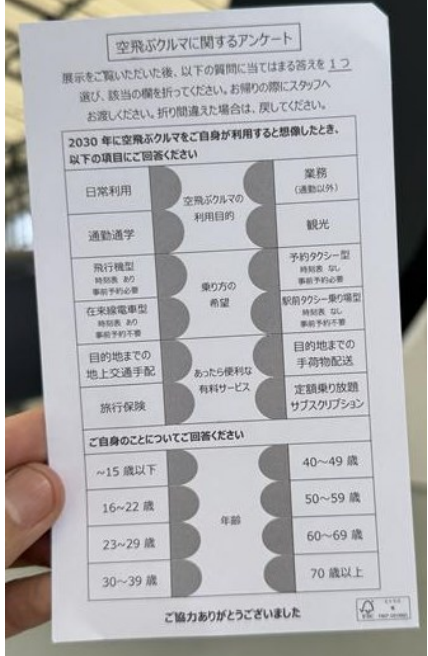
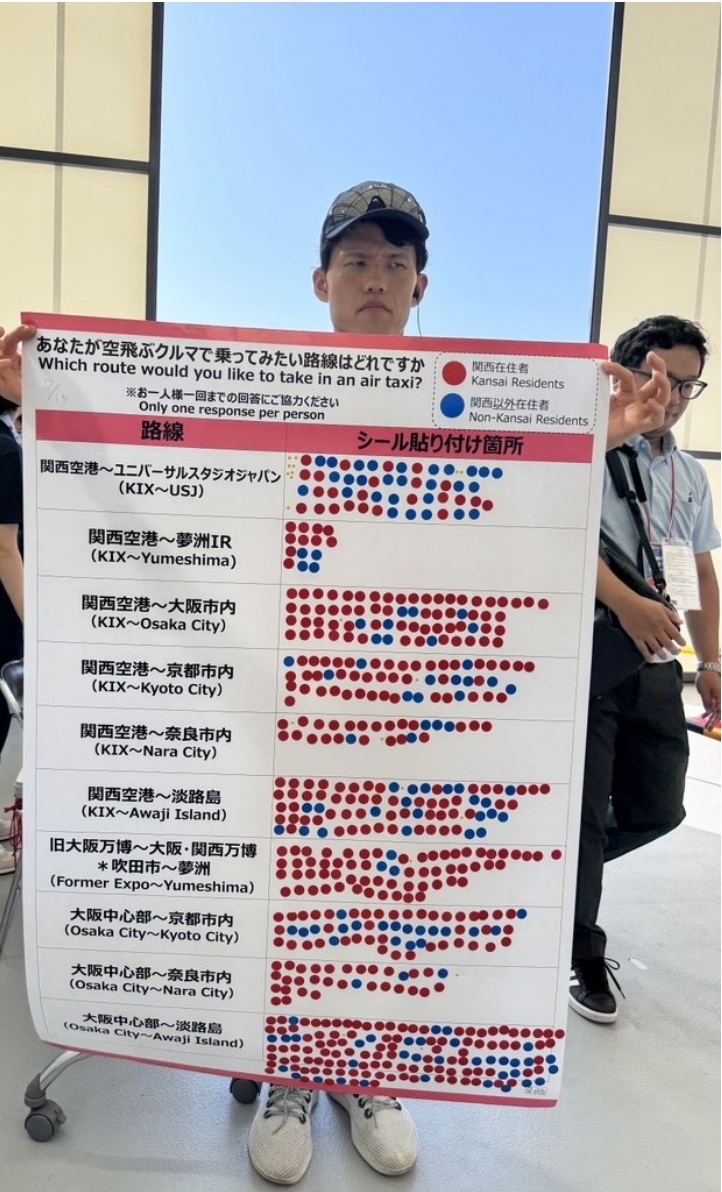
8日間で**5,514名**のお客様が来場・体験
新たな観光コンテンツとして強い魅力度



3. 商業運航に向けた取り組み | 万博 実機体験イベント



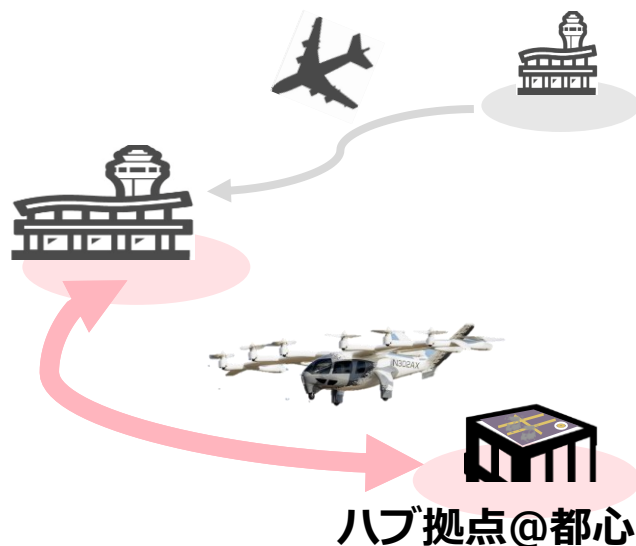
3. 商業運航に向けた取り組み | 万博 実機体験イベント



4. 運航事業開始後の展開イメージ

- ✓ 静穏性が高く、垂直離着陸を実現可能な空飛ぶクルマの特性を生かし、**空港からの二次交通・地域内ネットワークの形成**を目指す。
- ✓ 機体性能の向上や制度設計の成熟化とともに、**都市内エアタクシー**を実現する。

① 空港二次交通



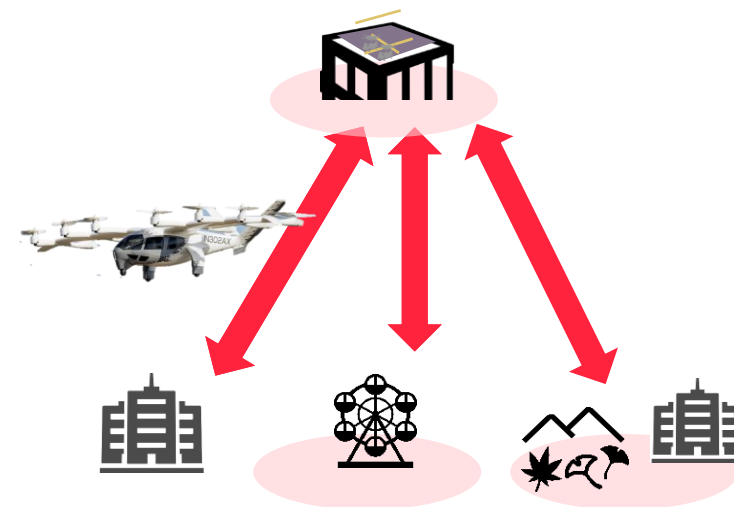
空港⇄ハブ拠点
観光遊覧

② 地域内周遊観光



ハブ拠点から観光地を周遊

③ 都市内エアタクシー



ビジネス・観光エリア内
二地点間の移動

立ち上げ期

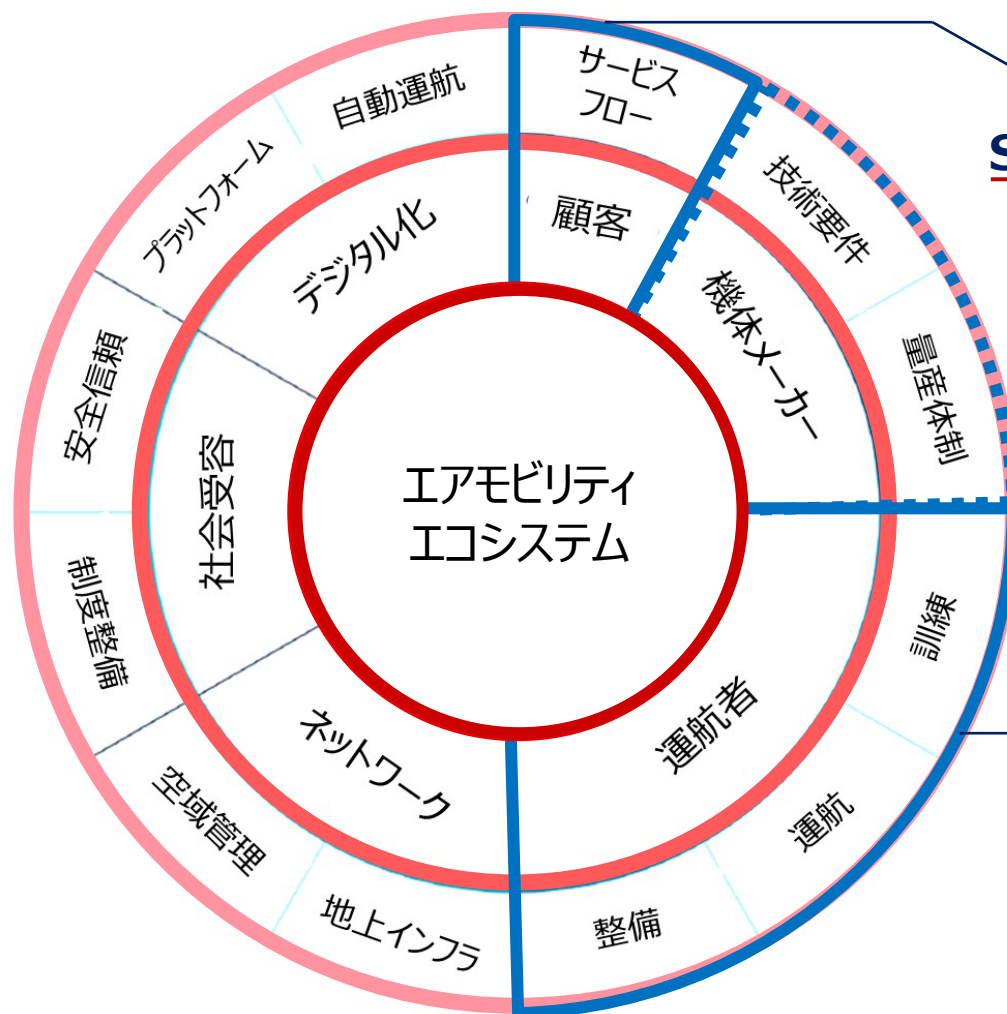
ヘリコプターと類似の形態（パイロット有り）

成熟期

自律制御 × 遠隔操縦で多頻度/高密度に運航

5. 弊社が官民協議会の議論で貢献する領域

- ✓ 弊社は**空飛ぶクルマの運航事業会社**として、運航を核に、空飛ぶクルマの整備・訓練、及び、お客様接点に関する業務展開を図ります。
- ✓ 航空運送事業で培ったJALの強みと、機体メーカーとの折衝を通じた住友商事の強みを最大限活用し、「現実的な運航」を想定した事業・離着陸場・技能証明・運航及び機体安全基準の**制度設計に向けた意見発信**と**実機体を用いた実証**を通じ、官民協議会での課題解決に貢献します。



Soracleが強みを持つエリア

- ✓ 「現実的な運航」を想定した意見発信
- ✓ メーカーとの密接な連携による海外状況共有
- ✓ 実機体を用いた実証飛行
- ✓ (商業化後)お客様とのタッチポイント